

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和5年3月4日

事業所名 運動療育のかがやき

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	100%	0%	運動時、チームごとに実施するなどして活動場所を広く使っています。	活動中の危険箇所(床、ドアノブ等)の確認を随時行い、怪我に繋がる恐れがある場合には保護を行ってまいります。
	2 職員の配置数は適切である	100%	0%	送迎スタッフ、添乗スタッフが抜けてしまうと一定時間ではありますが、コーチが手薄になってしまう時間がある為、添乗スタッフの入れ替え等工夫して適切な職員配置にしております。	
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	100%	0%	トイレには少し段差がある為、お子様に怪我がないようにスタッフの見守りを行い、手洗い場に高さがあるため補助いすを使用しております。お子様の成長に合わせた情報伝達を行う為に必要な視覚支援物の用意を行います。	
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	100%	0%	事業所内で会議を行う等全員に周知を行っている。	業務週報を活用し、週の初めに目標設定・振り返りを各スタッフがっております。
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	100%	0%	半年に1回のモニタリング面談などの時間で、事業所に対するご意見をいただく事を行っています。	評価表を活用し集計後、事業所内共有をし保護者様の意向を把握・業務改善に繋がるようスタッフで話し合いを行っております。
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	100%	0%	ホームページで公開しております。	
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	100%	0%	運営に携わっている職員が外部の方と面談を行い、外部評価を行っている。	コンサルタントの方に外部評価を行っていただき、業務改善に努めております。
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	100%	0%	・全体会議で外部の方を呼び、研修を行っている。	月に一度の全体会議の中で社員による研修や外部の方に来ていただいで研修を行っております。
適切な支援の提供	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	100%	0%	保護者様との面談を通して保護者様のニーズお子様のニーズに沿った支援計画が作成できるよう行っている。	契約時に標準化されたアセスメント用紙をお渡ししそれを基に、支援計画を作成、半年に一回支援計画見直しの面談を行いお子様の成長に合わせた支援計画の作成ができております。
	10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	100%	0%	契約時に加えて簡単な聞き取りを行っている。	標準化されたアセスメントツールを使用しております。
	11 活動プログラムの立案をチームで行っている	100%	0%	週の初めに職員同士で一週間のプログラムを作成している。	立案は担当スタッフ単独でしている為その後の振り返りをチームで行い、チームでの立案に繋げてまいります。
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	100%	0%	講師を招いた研修を行い、支援員の専門知識へつなげ、プログラムに取り入れている。	今後も新しい運動プログラムの立案に特化したスタッフを中心に既存の運動資料を基にしながら、新しい運動プログラムを取り入れる事で活動プログラムが固定化しないよう努めてまいります。
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	100%	0%	長期休暇(夏)でも子どもたちに楽しんで来所して頂けるよう水遊び等、様々なイベントを実施しております。	

供	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	100%	0%	契約時に標準化されたアセスメント用紙をお渡ししそれを基に、支援計画を作成、半年に一回支援計画見直しの面談を行いお子様の成長に合わせた支援計画の作成ができております。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	100%	0%	朝礼でその日來所されるお子様・注意事項の確認を行っております。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	100%	0%	送迎の関係で全スタッフが集まる時間の確保が難しい為、スタッフの共通ツールに共有、話し合いが必要な場合には後日話し合いの場の確保に努めております。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	100%	0%	毎日お子様ごとの支援計画に沿って記録を残し、必要に応じてヒヤリハットの作成、改善に繋げております。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	100%	0%	半年に一度モニタリングを保護者様に確認・面談を経て放課後等デイサービス支援計画の見直しの必要性の判断を行っております。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	100%	0%	ガイドラインに記載されている内容に沿ってお子様一人ひとりのニーズに合わせた目標・支援内容の設定が出来ております。

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	100%	0%	サービス担当者会議が開催されている際は、最もふさわしい者が参画しています。相談支援事業所ともより密に連携を図っていききたいと思います。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	100%	0%	送迎時、お客様の情報共有をさせていただいております。また、送迎の際遅れ等ありましたら必ずご連絡させていただいております。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	100%	0%	現状、医療的ケアが必要なお客様・重症心身障がいのあるお客様等がない為、必要であれば連携体制を整えてまいります。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	100%	0%	保護者様の意向に沿って情報共有・相互理解をさせていただきます。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	100%	0%	現在、該当のお子様がいらっしゃいませんので障がい福祉サービス事業所等へ移行する場合には保護者様の意向に沿って支援内容等の情報提供を行ってまいります。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	100%	0%	今後、様々な関連機関との連携をより一層深め助言・研修を受けてまいります。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	100%	0%	障がいの有無やサッカースキルに関わらず誰もが一緒に楽しめる「ユニファイドサッカー大会」や「未来へかがやく大きな一歩を」をスローガンに掲げ、老若男女、障がいの有無問わず誰もが自由に最大限の力を発揮できる場「みんなの運動会」を開催いたしました。今後も障がいの有無に関わらず誰もが一緒に楽しめるイベントを行ってまいります。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	100%	0%	今後、感染症の様子を見ながらそういった機会があれば積極的に参加していきたいと考えております。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	100%	0%	送迎時に情報共有を必ずさせていただいております。保護者様に直接お伝えするのが難しい場合でもお帳面での日のご様子をお伝えさせていただいております。
保護者への説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	100%	0%	三ヶ月に一度のママキラ会の開催を予定しております。また、導入等工夫をし家族支援プログラムの支援を行ってまいります。
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	100%	0%	ご契約時に重要事項説明書に沿って運営規定、利用者負担等についてのご説明をさせていただいております。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	100%	0%	LINEや電話においても保護者様からのお話させていただいております。支援計画の見直しの面談とは別に、直接事業所に来ていただき必要な助言・支援をさせていただきます。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	100%	0%	多くの保護者様にママキラ会に参加していただけるよう声掛けを行っています。ママキラ会という保護者会を3ヶ月に一度開催しております。今年度は☆就労支援事業所の講話会☆声紋分析体験☆保護者参観☆等様々なテーマで開催させていただきました。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	100%	0%	お子様・保護者様への周知が出来ていない状況にありますので、かがやきだよりやホームページ等掲載場所を検討してまいります。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	100%	0%	月に一度かがやきだよりを配布させていただいております。行事予定等の連絡はLINEを活用し発信させていただいております。
	35	個人情報に十分注意している	100%	0%	個人情報の記載された書類は鍵付きの書庫で保管、配布物には名前付きのファイルを使用する事で渡し間違いを防いでおります。

36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	100%	0%	保護者様との意思の疎通・情報伝達に関しましては、直接的なコミュニケーションだけでなくお電話やLINE等複数の手段を提供しております。
37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	100%	0%	イベントの際には地域の方々に参加の声掛けを行っている。 昨年は、地域の方々を招き、お餅つきを実施いたしました。今後も、地域の方々にも参加していただける行事を企画出来ればと思っております。

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	100%	0%	職員間で感染症、防災等の研修の実施を行っております。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	100%	0%	年に2回の利用者様も含めた防災訓練を、年間スケジュールにて予定しております。令和4年2月には利用者様のご協力のもと、地震を想定した防災訓練の実施を行いました。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	100%	0%	月に一度虐待防止委員会の研修を行っている。 虐待防止の為スタッフ間で話し合い、虐待防止への理解を深めております。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	100%	0%	身体拘束が必要なお子様は現在いらっしゃいませんので、必要に応じて対応してまいります。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	100%	0%	アレルギーのあるお子様は事前に確認し、おやつ・クッキングの際には再度保護者様に確認させていただいております。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	100%	0%	終礼の中でヒヤリハットを確認している。 ヒヤリハット作成後事業所内だけでなく他事業所にも共有させていただいております。